

チャノキイロアザミウマ

【学名：*Scirtothrips dorsalis*】



写真1 果実と穂軸の被害



写真2 雌成虫

【被害と発生生態】

- ・発生部位…果実，穂軸，葉
- ・発生時期…5～9月（最盛期：7～8月）
- ・発生好適条件…高温乾燥時に多発しやすい傾向があります。
- ・症状…果実や穂軸は褐変し，特に果実はリング状の被害痕となります（写真1）。葉は葉脈に沿って褐変します。

【見分け方】

- ・雌成虫は体長0.8mm前後です。
- ・他のアザミウマ類より小型で，翅の付け根が黒い八の字に見えます（写真2）。

【対策】

- ・発生初期から定期的に薬剤散布を行ってください。特に6月以降は急増しやすいため，注意が必要です。
- ・新梢や副梢の先端付近は寄生が多いため，棚上などにも薬剤が十分付着するよう散布してください。
- ・袋掛けは薬剤散布後，乾き次第すぐに行い，成虫の侵入を防ぐため止め金はしっかりと結んでください。
- ・園地周辺の寄主植物（チャ，イヌマキなど）を減らしましょう。
- ・余分な副梢は寄生場所となるため，早めに除去してください。
- ・窒素肥料の過剰は余分な副梢の発生を助長するため控えてください。
- ・越冬場所を減らすために粗皮剥ぎを行うと効果的です。